



世界の笑顔撮影してメッセージとともにエキスポビジョンで紹介する「メリーエキスポ」を企画するアートディレクター水谷孝次さん(54)が、キューパ館の周囲で来場者やスタッフらを撮影した。キューパへの思いを語ってもらった。

**アートディレクター 水谷孝次さん**

「ハバナで昨秋に撮影したときのことです。撮影の前後に周囲のごみ拾いをしますが、子どもたちが「ほくらも集めます」と手伝ってくれました。とても気持ちよく印象的でした。」

そこで撮影したおじいさんに「あなたのメリー(幸せ)は何ですか」と聞くと、「子どもたちがいい教育を受けて、いい世の中をつくってくれること」という答えが返ってきました。

キューパは子どもたちに社会の未来を託す気持ち

「強い国。子どもたちももっと勉強しなければ」とプライドをもっているように感じます。」

「メリーな街づくりはメリーな空気づくりから」。東京・渋谷でメリーごみ拾いを企画すると、ふだんはホイ捨てをしているような連中も参加します。日本の若者もやります。

笑顔撮影し、笑顔を紹介できた万博に感謝して、9月には名古屋で大規模なごみ拾いをやろうと準備しています。

(談)

**未来を子に託す幸せ**



愛・地球広場は万博協会が運営し、メディア朝日(朝日新聞社、テレビ朝日、朝日放送、名古屋テレビ放送)、松下電器産業、NTTドコモ・ドコモ東海が協賛しています。

